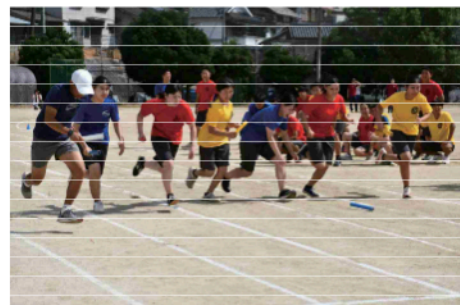
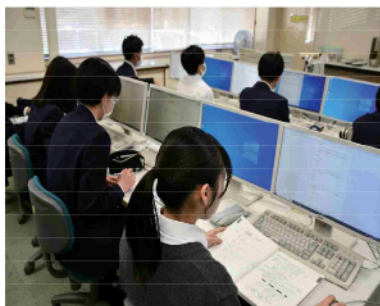




めざせ日本一！
めざせ自分一！

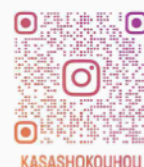
～誰かとの比較でなく、自分基準で最高をめざそう～



学校ホームページはこちら→



インスタグラムはこちら→



KASASHOKUHO

学校紹介

笠商の魅力は生徒！

本校は今年で創立124年目になる伝統のある学校です。本校の魅力である生徒は「誠実・健康・努力」の校訓のもと、ビジネスを学んでいます。今年度は、「めざせ日本一！めざせ自分一！～誰かとの比較でなく、自分基準で最高をめざそう～」を合言葉に、学校行事など日々の学校生活を楽しく過ごしています。



表紙作成：岡山県立笠岡商業高校

3月定例会を開催しました

会期 2月25日～3月28日

できごと

議案審議

2～4P

一般質問

6～11P

次回は
6月
定例会

主な内容

○議案 48件
○発議 2件
○請願 1件



PICK UP!

ここに注目

○令和7年度一般会計予算を可決しました。
○岡山県立高等学校再編整備アクションプランに関する意見書を可決しました。

令和7年度一般会計予算を可決しました

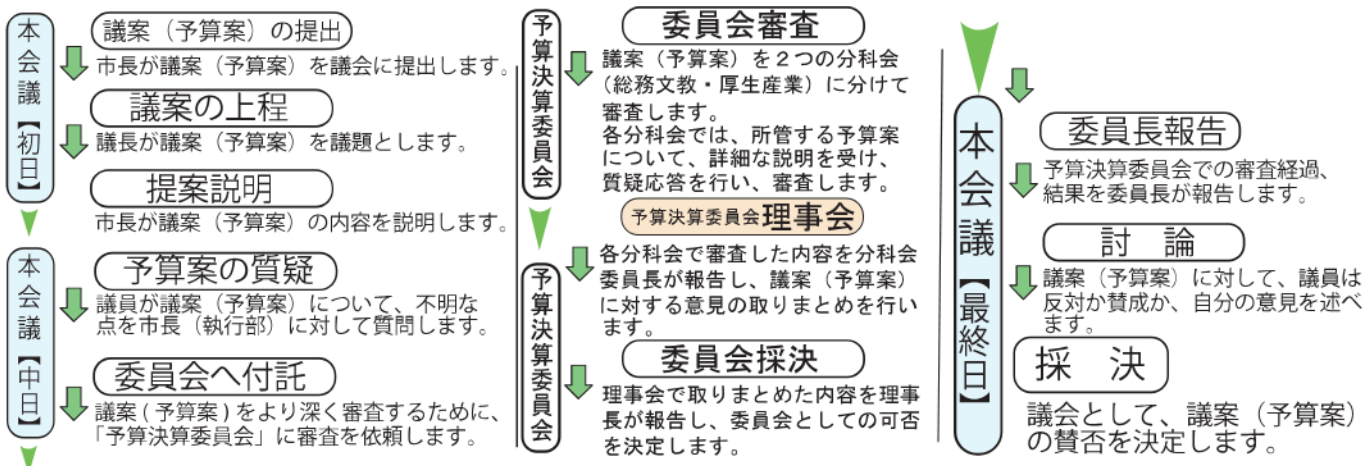
新規事業31件を含む総額275億708万円について審議し、賛成多数で可決しました。

一般会計予算の主な新規事業は次のとおりです。

事業名	事業内容	予算額
高齢者タクシーチケットマイナンバーカード移行事業	高齢者タクシーチケット利用者の利便性の向上及びタクシー事業者や市の事務処理負担などの軽減を図るため、マイナンバーカードを利用したシステムの整備を行う。	2,490万4千円
笠岡湾干拓地臭気対策事業	新たな臭気対策資材による効果検証や臭気報告アプリにAIを活用した予測機能の追加等、多面的な複数の取組を実施する。	1,240万1千円
保育料第2子以降無償化事業（拡充分）	年収、保育施設等の利用の有無にかかわらず、生計を同じとする子どもを年長順にカウントしたときの第2子以降を無償化する。	1,114万円
こども家庭センター事業	こども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを統合した、こども家庭センターを新たに立ち上げ、こどもや子育て世帯、妊産婦を一体的に切れ目なく支援し、安心して子育てを行うことができる環境を整える。	1,774万7千円
小中学校空調設置事業	児童生徒の熱中症による健康被害等を防ぐため、小学校8校、中学校5校の家庭科室、美術室等の特別教室に空調設置を行う。	1億1千万円

当初予算案の審議の流れ

本会議 → 委員会 → 各分科会 → 理事会 → 委員会 → 本会議



議案等審議狀況



審議状況は HP でも
見ることができます！

👉 下記に掲載する議案については、全会一致で可決しました。

番号	案件名	番号	案件名
議案第1号	市長の専決処分した予算について	議案第26号	笠岡市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例について
議案第2号	令和6年度笠岡市一般会計補正予算（第7号）	議案第27号	笠岡市職員の定年等に関する条例等の一部を改正する等の条例の一部を改正する条例について
議案第3号	令和6年度笠岡市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	議案第28号	笠岡市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第4号	令和6年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計補正予算（第3号）	議案第29号	笠岡市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について
議案第5号	令和6年度笠岡市へき地診療施設特別会計補正予算（第1号）	議案第30号	笠岡市上下水道企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について
議案第6号	令和6年度笠岡市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	議案第31号	笠岡市病院企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第7号	令和6年度笠岡市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	議案第32号	笠岡市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について
議案第8号	令和6年度笠岡市水道事業会計補正予算（第1号）	議案第33号	笠岡市子ども医療費給付条例の一部を改正する条例について
議案第9号	令和6年度笠岡市下水道事業会計補正予算（第1号）	議案第34号	笠岡市子どもを虐待から守る条例の一部を改正する条例について
議案第10号	令和6年度笠岡市病院事業会計補正予算（第1号）	議案第35号	笠岡市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例について
議案第12号	令和7年度笠岡市国民健康保険事業特別会計予算	議案第36号	笠岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
議案第13号	令和7年度笠岡市国民健康保険真鍋島直営診療施設特別会計予算	議案第38号	笠岡市手数料条例及び笠岡市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第14号	令和7年度笠岡市へき地診療施設特別会計予算	議案第39号	笠岡市低炭素建築物新築等計画認定事務手数料条例の一部を改正する条例について
議案第15号	令和7年度笠岡市後期高齢者医療特別会計予算	議案第40号	笠岡市建築物エネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について
議案第16号	令和7年度笠岡市介護保険事業特別会計予算	議案第41号	笠岡市建築確認事務手数料条例の一部を改正する条例について
議案第17号	令和7年度笠岡市水道事業会計予算	議案第42号	笠岡市公共下水道条例の一部を改正する条例について
議案第18号	令和7年度笠岡市下水道事業会計予算	議案第43号	笠岡市消防団条例の一部を改正する条例について
議案第19号	令和7年度笠岡市病院事業会計予算	議案第44号	笠岡湾干拓地農地への土砂等による盛土等の規制に関する条例を廃止する条例の制定について
議案第20号	組織の改編に伴う関係条例の整理に関する条例について	議案第45号	笠岡市立学校寄宿舎設置条例を廃止する条例について
議案第21号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	議案第46号	福山市と笠岡市との間における連携中枢都市圏形成に係る連携協約の変更について
議案第22号	笠岡市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	議案第47号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定及び変更について
議案第23号	笠岡市名誉市民条例の一部を改正する条例について	議案第48号	笠岡市農業委員会委員の任命同意について
議案第24号	笠岡市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	発議第1号	笠岡市議会刑法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
議案第25号	笠岡市一般職の任期付職員の採用に関する条例の一部を改正する条例について	発議第2号	岡山県立高等学校再編整備アクションプランに関する意見書

 賛成・不賛成の分かれた議案は起立採決で賛否を問います 賛成○ 不賛成●

会派名	創政 みらい				讃志会			いぶき		公明党		むすび の会		諸派					賛成 不賛成		
議員名 議案名	天野 喜一郎	仁科 文秀	桑田 昌哲	大月 隆司	山下 恭司	大山 盛久	奥野 泰久	山本 聡	藤井 義明	妹尾 博之	齋藤 一信	大本 邦光	真鍋 陽子	藪田 誠二郎	西山 博行	守屋 基範	村上 太志	宮崎 秀夫	井木 守	加藤 義久	
議案第 11 号 令和 7 年度 笠岡市一般会計予算	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	●	○	15 : 4
議案第 37 号 笠岡市市営 住宅の設置及び管理に関する 条例の一部を改正する条例に ついて	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	18 : 1
請願第 6 号「最低賃金全国 一律制への法改正を求める 意見書」採択を求める請願	●	●	●	議長	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	○	●	4 : 15 不採択

※議長は地方自治法第116条第2項の規定により、採決に加わることはできません。

「岡山県立高等学校再編整備アクションプランに関する意見書」を岡山県教育委員会へ提出

意見書の提出について、総務文教委員会からの発議により、全会一致で可決しました。

意見書の内容

令和7年3月14日に、岡山県教育委員会は、県立高等学校再編整備アクションプランを公表し、笠岡高校、笠岡工業高校、笠岡商業高校の県立高校3校を発展的に再編するという方向の内容が示されました。

笠岡市議会では、令和6年9月に、「岡山県立高等学校教育体制整備実施計画の再編整備の対象から笠岡工業高等学校を除外すること及び学校の魅力と活力を高めることを求める意見書」を、岡山県教育委員会等関係団体に提出し、笠岡工業高校を再編整備の対象から除外することを求めました。

しかしながら、このたびのアクションプランでは、本市議会が存続の強い意思を示し、提出した意見書の内容が受け入れられなかったことは、非常に遺憾であります。

新たな学校が、笠岡市のこれからの未来を担う子どもたちの多様な進路の選択肢となり、また、さらなる時代の進展、社会のニーズ等に対応した特色ある学校となることを求めます。また、井笠地域はもちろんですが、広範囲の地域から求められる人材を輩出することができる、地域から選ばれる学校となるよう、必要な教員配置や財政投資などを行ってください。そして、プロジェクトチームが検討する中で、学校所在自治体の笠岡市はもとより井笠地域からの多くの声を聴き、先を見据えた魅力ある学校となるよう求めるものです。

要望しています～笠岡市の未来のために～

令和7年度当初予算審査要望事項

3月定例会では、令和7年度笠岡市一般会計予算等の審査を行いました。審議の結果、賛成多数で可決し、4件の要望をすることになりました。今後、要望事項に市がどう取り組んでいくのか、進捗状況を定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックします。

地方バス路線維持補助金について

市民の交通手段を確保することは必要であり、単に補助金の額を増やすのではなく、行政の側としても体制の強化を図り、本市の交通政策の方向性をきちんと打ち出していきたい。

地域おこし協力隊について

近年、地域おこし協力隊については、地域課題の解決のための人材確保の意味合いが強くなっており、本来の目的である定住という観点が薄れてきている。

定住を見据えた人材の採用とサポート体制の充実に努めていただきたい。

また、定住促進のための情報発信、窓口の周知もしっかり行っていただきたい。

指定ごみ袋配布事業について

世帯人数が減少傾向にある中、指定ごみ袋については配布枚数のみならず、容量についても見直しの検討が必要と考える。

市民の声をしっかり聞きながら積極的に見直しを行っていただきたい。

笠岡市こども計画策定事業及び笠岡市障がい福祉計画（第8期）

・笠岡市障がい児福祉計画（第4期）策定業務について

計画の策定に当たり、特に子供に関することについては、調査方法等を検討し、対象者のニーズに対応した、より実効性のある計画の策定、福祉施策の実施ができるようにしていただきたい。

視察にいらっしゃいました

令和6年度 行政視察報告



先進的な取組を調査するため視察に行ってきたので報告します

議会運営委員会

(参加議員) 天野喜一郎 齋藤一信 井木 守
大山盛久 桑田昌哲 仁科文秀 藤井義明
真鍋陽子

1月28日～30日



議会報告会について

佐賀県鳥栖市

鳥栖市議会では、「オープン the 議会」と称して議会報告会を開催し、議員の政策立案能力を強化するとともに、政策提案の拡大に努めています。告知に関して、近年では、市議会HPでの告知や市議会の公式SNS等を活用した広報も行われてます。議会報告会のテーマ(議題)は、議会報告会を担当する広報聴取委員会で協議し、決定しています。令和5年の議会報告会は、新庁舎建設に伴う議場オープニング記念事業として中学生スピーチが行われました。

自由討議の取組について

大分県中津市

中津市議会では、積極的な議員間討議の取組として、平成23年12月から本会議・委員会における議員間の自由討議を実施しています。①2つの会派が自由討議のテーマ(一般質問、代表質問以外のテーマも可)を提出し、②議会運営委員会で議員間討議に値する案件かどうか諮り、③本会議において自由討議を行い、④決議案の議決を行います。決議やテーマの中から決議や提言要望を行った件数は15件にのぼり、特別委員会を設置したこともあります。

議会業務継続計画

(議会BCP)について 福岡県古賀市

古賀市議会では、平成27年に設置された政策推進会議の検討の中で同年に策定された「市議会災害対応要綱」、「議員行動マニュアル」と、その後の平成29年に策定された「議会版BCP」などによって災害時の議会対応がなされています。コロナ禍のときには、議会BCPに基づき、30回以上災害対策会議を招集したり、議会BCPに基づく防災訓練も行われ、議員全員の安否確認の模擬訓練が行われています。

議会報告会を開催しました

令和6年度

実施結果報告

令和7年2月9日に、笠岡市保健センターのギャラクシーホール・研修室にて議会報告会を開催しました。

今回の報告会は、「公共交通」と「笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方」の2つのテーマについて、市民の皆様と議員全員で意見交換を行いました。

QRコードを読み取ると
報告書を読むことができます。



～ 実施結果概要 ～

参加者数 25名 (内訳: 公共交通 12名、笠岡市の土地利用及び施設の今後の考え方 13名)



議会報告会へご参加いただき、ありがとうございました！
皆様からいただいた貴重なご意見は、議会改革や市政への提言の参考にするなど、議会活動に生かしていきます。
次回も多くの方のご参加お待ちしております。



議会では、市民の皆様のご意見やご提案をしっかりと聴き、活動を深め、市政に反映していきたいと考えています。引き続き、よろしくお願いいたします。



むすびの会

質問者

まなべ ようこ
真鍋陽子議員

所属議員

やぶた せいじろう
薮田誠二郎議員

財政健全化プランにおける
所得の再分配機能について

〔質〕 自治体における所得の再分配機能という視点で見たとき、今回のプランは満足のいくものになっているのか。今後の状況によって公共の福祉に対して新たに財源を割くことはあるのか。

〔答〕 限られた財源の中で公共の福祉というものには最大限配慮した。今後は財政面、社会情勢を見ながら考えていく。基本的な考え方としては、市民は顧客ではない。サービスの競い合いをすることで人口を奪い合うことを考えているわけではない。あくまでも自治体としてなすべきことをして、市民と一緒にになって課題を見つけ、それを解決していくことが自治体の役割だと考えている。

こどもまんなか社会の
実現に向けて

〔質〕 ①笠岡市子ども条例の定義をこども基本法に合わせることはできるか。②学校のトイレに生理用品を置いているのか。③様々な計画や新たな学校の在り方などについて、タブレットを活用するなどして子供にアンケートを取れるか。④相談支援ファイル「かけはし」の改定はできるか。⑤合理的配慮における負担への支援は。

〔答〕 ①笠岡市子ども計画策定のタイミングに合わせて検討する。②設置は学校長の判断で可能である。市内中学校4校で常設している。③当事者である子供たちの意見も柔軟に取り入れていく。④必要があれば見直したい。⑤教員の負担軽減など今後も研究していく。その他、「教育における多職種連携」等について質問しました。



公明党

質問者

さいとう かずのぶ
齋藤一信議員

所属議員

おおもと くにみつ
大本邦光議員

市民病院建設は、
基本計画どおり進められるのか

〔質〕 市民病院建設は、基本計画どおり進められるのか否か、市の方針を尋ねる。

〔答〕 公立病院が担う役割の重要性をしっかりと考え、今後の情勢の変化も的確に把握しながら、よりよい形で前進できるよう努める。

〔質〕 最終的にどの程度のコストアップなら建設に踏み切るのか、その見立てについて尋ねる。

〔答〕 市の財源に大きな影響があり、市の施策に大きな影響がある場合には、一度立ち止まらざるを得ない。市の財源にどれだけの影響を及ぼすのか、そして市民に対する施策にどこまで影響を及ぼすのか、そこをしっかりと見極めて考えていきたい。

富岡の市営住宅の
建設計画は今後どうなるのか

〔質〕 笠岡市財政健全化プランにおいて、多くのハード事業が凍結された。中でも、富岡の市営住宅の建設計画は、ロードマップがいまだ見えていない中、入居者の募集はストップしており、高齢化したコミュニティの維持が不安視されている。入居者の安心・安全の生活を守るためにどう対処するのか、早急に答えを出すべきだと考えるが、市の考えを尋ねる。

〔答〕 住民に対しては、今後の方針が決まり次第、早急に住民説明を行い、住み替え等も含めて個々の事情をしっかりと聞くなど、真摯に丁寧に対応していきたいと考えている。



新年度予算案について

質 令和6年度予算執行状況について、誰もが分かりやすい説明が必要と思うが、見解を尋ねる。

答 令和6年度当初予算は骨格予算であったため、道路や学校の維持補修費等は、半年相当の予算のみを計上し、支出が決まっている補助金も計上していなかった。そのため、6月肉付け補正予算では、そうした予算は計上しなければならず、一部の事業や新たな政策的予算の計上は見送った。それでも多額の財政調整基金を取り崩した。

質 令和4年度にも存在意義の薄れた事業や効果の少ない事業については積極的に事業の廃止、縮小を行うとの予算編成方針の下、予算が編成されていた。令和4年度と令和7年度との予算の違いは。

創政みらい

質問者
くわだ まさあき
桑田昌哲議員

所属議員
あまの きいろう
天野喜一郎議員
にしな ふみひで
仁科文秀議員
おおつき たかし
大月隆司議員
やました きょうじ
山下恭司議員

答 令和4年度の8倍を超える1962.3億円の効果額を反映した。

障害者通所施設について

質 事業所の事業サービス拡充に必要な市の支援は何か。

答 医療的ケア等が必要な重度の障害がある方に対する障害福祉サービスが不足している。事業許可の権限を持つ岡山県と相談しながらサービス提供体制が整えられるよう取り組んでいく。

質 市内に就労継続支援B型の事業所が現在11あるが、事業所と利用者数の差をどのように捉えているのか。

答 事業所の状況については、不足しているようには感じていない。



笠岡市 総合計画（第8次）について

質 「元氣・快適・ときめき 進化するまち笠岡」を都市像に掲げ、親子2世代、3世代が一緒に暮らせる社会の実現に向けて策定された第7次総合計画と次期総合計画に向け、都市像に相違はあるか。

答 第7次総合計画と次期第8次総合計画の都市像の総意については、先般、第1回目の第8次総合計画審議会を開催し、対話と調和と連携で築く、夢と笑顔が広がるまちづくりを目指す都市像をお示した。あわせて、笠岡に暮らす私たちが市民が笠岡に愛着を持ち、笠岡に暮らしてよかったと思えるまちになるよう、「暮らしをささえる」「まちを整える」「子どもをまもり人を育む」の3つの柱を基本理念にまちづくりを進めていくとする基本構想もお示している。

讃志会

質問者
おおやま もりひさ
大山盛久議員

所属議員
おくの やすひさ
奥野泰久議員
やまもと さとし
山本 聡議員

笠岡市の公共交通について

質 公共ライドシェア（住民・NP0）の導入について、デマンドバス導入に至った経緯と尾坂市民病院線、松尾乗時市民病院線の運営の見込みについて尋ねる。

答 デマンドバス導入に至った経緯としては、路線バスの停留所から一定以上の距離が点在している地区があり、かつ起伏が激しいため高齢者等の利用が困難である、尾坂・大島地区において平成22年度にデマンド型乗合バスの実証運行業務をスタートしたことがきっかけとなつていく。しかしながら、運行主体である井笠カンパニーの乗務員不足が深刻化していることから、利用予約のあるなしにかかわらず乗務員の確保が必要なデマンドバスの維持が困難となり、令和6年度3月末を以て廃止する。



やぶた せいじろう
荻田誠二郎議員



「吃音症の理解」について

〔質〕 吃音症とは、言葉がつまり最初の言葉が出にくかったり、同じ言葉を繰り返すなどの言語障害の一つである。人によっては、言葉が全く出ず、息だけが漏れる症状を難発と言うが、息ができなくなり精神的にとっても苦しい症状もある。本市では就学前、小・中学校で吃音を持った方が相談するサポート体制はどうなっているか。

〔答〕 本人や保護者面談を通して日常生活の中でできる支援を紹介し、必要に応じて「ことばの教室」等の関係機関につないでいる。

〔質〕 吃音を通じ、様々なマイノリティー、個性を受入れ合える社会のためのメッセージを込め、吃音の知識を深めるための配布物や出前講座などを行うことは可能か。

〔答〕 啓発、啓蒙は、今はできていないがしっかりと研究していく。同じ吃音症でも人それぞれ違う悩みがあることが分かり、そういった面を大事にしながら今後進めていく。

「笠岡市財政健全化プラン作成の目的」について

〔質〕 本市の経営は決して悪いわけではないが、市民への不安と不信感、全国へネガティブな印象が拡散された状況を危惧する。見解とコミュニティの役割をどのように考えているか。

〔答〕 自治体は市民と共に地域を運営する主体である。市民が積極的に関わり、行政と共に地域をつくる意識の醸成が今、最も重要と考える。市民とともにつくり上げるべく、しっかりと対話をしながら取り組んでいく。

市長の政治姿勢について



〔質〕 市長は、対話と調和、連携により夢と笑顔が広がるまちづくりをスローガンに掲げているが、笠岡市財政健全化プランについて対話の姿勢が見えないのはなぜか。

〔答〕 パブリックコメントの御意見は、財政健全化プラン修正の参考や貴重な提言として今後の施策の参考にする。

〔質〕 市政運営は、笠岡市自治基本条例に基づいて行われるべきである。市長の考えを尋ねる。

〔答〕 市長との座談会を設けている。しっかりと対話をしていきたい。

市民の住環境整備、市営住宅の管理について

いぎ まもる
井木守議員



〔質〕 空き家にしないため、市民が相談できる窓口が必要と思うが、現在の体制はどうか。

〔答〕 相談窓口はないが、対策チームをつくり対応している。4月以降は都市計画課が窓口になる。

〔質〕 エレベーターのない市営住宅の高層階は、住みにくい。応募もないとのことだが対策はあるのか。

〔答〕 応募が少ない高層階は、定期的な募集の後、随時募集に切り替えていきたい。

その他「笠岡市立市民病院のパワーハラスメント対策」等について質問しました。

庁内における
DX推進について



にしやま ひろゆき
西山博行議員

〔質〕 デジタル技術活用人材育成について、具体的にどのような取り組みをしているのか。

〔答〕 市民目線でデジタル施策の考えを基に企画、実施できるようサービスデザイン思考研修を全職員向けに実施している。職員全員が市民の暮らしをよりよくするためのデジタル施策を考えられるようにさらに研修を実施していく。

〔質〕 庁内業務の効率化を目的とした生成AIの導入について、笠岡市としての見解を尋ねる。

〔答〕 生成AIに関しては、庁内業務での活用事例の洗い出しを実施している。他自治体の導入事例を参考にしながら、研究を推進する予定である。

小・中学校における
ICT教育について



〔質〕 ICT活用による課題、今後の改善点について尋ねる。

〔答〕 情報モラル教育の、より一層の推進や活用状況の差などの課題がある。県教委とも連携を図り、継続的な研修体制の構築と実践的な指導体制の整備を推進していく。

〔質〕 ICTを最大限活用する教育を本市の教育の柱の一つにし、他自治体とは違う教育の特色として打ち出すことも重要ではないかと考えるが、見解を尋ねる。

〔答〕 まず子供たちの探究心を育むことが重要である。本市のICT機器を活用した探求学習の取組が動き始めた実感している。本市の豊かな自然や歴史、文化を生かし、今後も発展を目指す。

国道2号バイパスと仮称篠坂PA
スマートインターチェンジを問う



やました きょうじ
山下恭司議員

〔質〕 企業誘致の前に農振農用地の除外ができないか。

〔答〕 西大島・篠坂地区は、大部分が農振農用地に指定されており、宅地などの他の用途への変更が厳しく制限されている。誘致する企業の土地利用計画等を整理し、必要な面積のみ除外する方針である。

〔質〕 県道井原福山港線で、国道2号線陸橋付近と茂平交差点付近の朝のさらなる渋滞が懸念されるが対策を尋ねる。

〔答〕 有田地区では9千台、茂平地区では1万4千台の交通量が24時間である。茂平地区は国の交付金事業を受けて市道を拡幅している。国、県、市の事業を合わせて交差点改良を進める考えである。

市庁舎建て替えの前倒しに
ついて問う



〔質〕 市庁舎建て替えは、財政健全化プランでは令和13年度の着手を前倒しにするところがあるが、もっと前倒しにできないか。

〔答〕 令和17年度工事完成を想定しており、前倒しの検討を行いたい。

〔質〕 市庁舎は耐震化もできず震度6以上で崩壊するとの耐震診断が出しており、もっと前倒しが必要である。被災した場合は、人的災害として過失や管理責任が問われるか。

〔答〕 震度6以上では避難が困難な状態も想定され、重大な管理責任を問われる可能性がある。非常に危険な建物と承知しており、令和7年度中に基本構想の策定を目指す。



かとう よしひさ
加藤義久議員



笠岡市役所本庁舎の建て替えについて

質 笠岡市役所本庁舎は、平成25

年実施の耐震診断において耐震性

能が低いとされていること、災害

対応の拠点として庁舎機能を維持・

確保しなければならないこと、職

員等の安全を守る必要があること

からも、その対応方について市長

の考えを尋ねる。

答 喫緊の課題として最優先で取

り組まなければならないと考えて

いる。財政健全化プランにおいて

も前倒しを検討することとしてお

り、同プランを確実に実行するこ

とで財源を確保し、可能な限り早

期に実現したいと考えている。

質 建設費用を賄う財源ができる

まで待つというのではなく、スケ

ジュールや場所の選定などは早期

に進めるのか。

答 令和7年度中には、新庁舎の

基本構想の策定を目指したい。

質 岡山県内の他市（総社市、美

作市、玉野市、岡山市）に目を向

けてみると、南海トラフ巨大地震

等を見据え、いずれも防災機能の

強化や行政窓口の集約に力点を置

いた新庁舎の建設ラッシュである。

ぜひ参考にしていただき、本市も

身の丈に合った新庁舎建設を早期

に着手してもらいたい。市長の考

えを尋ねる。

答 本市においても、他市の事例

を参考にしながら、災害時に防災、

災害対応の拠点として庁舎機能を

維持できるよう、可能な限り早期

の本庁舎建て替えに向けて取り組

む。

公共施設の統廃合について

質 持続的市政運営における公共

施設の統廃合について尋ねる。

答 公共施設等総合管理計画を基

に公共施設の在り方について方針

を検討している。島しょ部の学校

施設は地域にとって重要な施設で

ある。地域の方々と十分な協議を

した上で活用について検討する。

質 貫岡講堂の在り方について尋

ねる。

答 令和6年6月議会で示したと

おり、現時点では具体的な方針は

決定していない。限られた予算の

中で施設の維持、運営が課題だが、

その建築的、歴史的価値や施設の

現状を踏まえ、市全体の公共施設

の適正な配置を図る中で、方針を

検討していく。



やまもと さとし
山本 聡議員



空き家への移住対策について

質 玉野市が移住定住促進の施策

運営を委託する「NPO法人うの

づくり実行委員会」のような組織

は笠岡市に存在するのか。

答 「NPO法人海の校舎大島東

小」が、海の校舎で全国からクリ

エイターを募集し、地域活性化及

び地域交流事業を行い、定住人口

及び関係人口の増加、にぎわいの

創出を目的に活動している。

質 定住促進センター改組後の活

動方針について尋ねる。

答 住居や地域コミュニティの

様子、生活や仕事面などトータル

サポートを含めた移住・定住は、

まちづくり課に引き継ぐ。分かり

にくかった空き家に関することは、

業務を都市計画課に一本化する。



にしな ふみひで
仁科文秀議員



住民の生活環境、健康を守る
ために笠岡市は何をするのか

充実した笠岡市の保育・教育を
市内外に知っていただきたい

〔質〕 国道2号バイパスの供用開始に伴う騒音により、大島や入江地区等では生活環境への影響、健康被害が懸念されている。住民は以前から防音壁の設置を強く要望している。国が示す供用開始後の騒音予測値は環境基準ぎりぎりである。環境基準を下回り、静かな環境を保つためには窓を閉めてほしいと国は求める。しかし、家庭でも学校でもいつも窓を閉め切るわけにはいかない。考えを尋ねる。

〔質〕 お金がかかりすぎる子育てや教育について、今後の笠岡市の取組について尋ねる。

〔答〕 令和7年度は第2子以降の保育の無償化に取り組み、高校生までの医療費無償化は令和8年4月から実施したい。引き続き、子供や保護者に寄り添い、ニーズを的確に把握し施策を実施する。

〔質〕 現在、市外から受け入れている100人近い児童とその保護者にも本市の充実した子育て支援策を知ってもらうことが大切ではないか。

〔答〕 他市町から入所・入園している児童を来年度も通わせたいという声を聞く。充実した保育を着実に実施し、関係小学校とも連携して本市の教育も知ってもらいたい。

財政健全化について



もりや もとのり
守屋基範議員



〔質〕 福祉・子育ては削減していないと12月議会で、市長は答弁されたが、今回のパブリックコメントについての見解を尋ねる。

〔答〕 福祉と教育は削減していないとは答弁していない。細心の注意を払って削減の案に盛り込んだ。

〔質〕 今後の取組について尋ねる。

〔答〕 財政健全化に伴う本市のビジョンも盛り込んだ。庁内で横断的に協議ができるタスクフォースを立ち上げ、議論を重ねている。

新年度予算について

〔質〕 市長の目指す笠岡像は。

〔答〕 第8次笠岡市総合計画審議会「対話と調和と連携で夢と笑顔

が広がるまちづくり」を提示した。優先した新年度の施策については、第2子以降の保育料無償化、令和8年度からの高校生までの医療費無償化に向けた準備費用を予算化した。臭気対策については、多面的に取り組むこととしている。

〔質〕 敬老会について尋ねる。

〔答〕 敬老会への参加者の減少、温暖化による猛暑、担い手の高齢化により在り方を見直す。

〔質〕 敬老会・市美展について、市民から多くの声があった。やめるときには代案を示してほしい。この時期にやめると、笠岡市は財政が苦しいから福祉も文化も捨てるのかと思われる。見解を尋ねる。

〔答〕 今後も文化芸術の発表の場は必ずつくる。若い人たちが発表する場、チャンスはつくる。

6月定例会のお知らせ

6月 5日（木）★初日（議案上程ほか）
6日（金）★2日目（個人質問）
9日（月）★3日目（個人質問）
10日（火）★4日目（個人質問）
11日（水）★5日目（諸議案質疑以下）
予算決算委員会
12日（木）★総務文教委員会
総務文教委員会協議会

13日（金）★厚生産業委員会
厚生産業委員会協議会
18日（水）議会運営委員会
19日（木）★最終日（議案採決ほか）

（★は生放送予定の会議です。）

※この日程は予定です。

日程は5月29日の議会運営委員会で決定します。

会議は各日とも9：30から開始します。

議会生放送を行っています

笠岡放送（株）にご協力いただき、CATVの11ch行政（地デジ112ch）で審議の様子を放送しています。

本会議、常任委員会（総務文教委員会・厚生産業委員会・予算決算委員会（一部））及び予算・決算についての詳細な審査や確認を行う分科会が生放送でご覧いただけます。

よりよい笠岡市をつくっていくために行われる白熱の会議は必見です。傍聴したいけど時間がない、議会棟まで行くことが困難・・・という方や、議会には興味がない・・・という方も、ぜひ一度ご覧ください。

次回生放送を予定している会議は、上記の「6月定例会のお知らせ」にあります。

（変更となる場合がありますのでご了承ください。）

皆さんも一緒に笠岡市の未来について考えましょう！！

「市議会かさおか184号」に対するご意見をお聞かせください

市民の皆様の「市議会かさおか184号」に対するご意見をお聞かせください。

応募方法 スマートフォン又はハガキからお寄せください。

●スマートフォンの場合

2次元コードを読み取り、必要事項の入力・選択をお願いします。



●ハガキの場合

ハガキに必要な事項（住所・氏名）をご記入の上お送りください。

ご意見は、

読みやすい紙面づくりに活かしていきます。

【宛先】〒714-8601

笠岡市中央町1-1 笠岡市議会事務局 宛

編集の窓

桜の花が咲いています。春は出会いと別れの季節です。

議員最初の頃の出会い、別れの一つ一つを大きな感動と共に、鮮明に覚えています。しかし、月日の流れの中で感動が薄れていき、大きな出会いも別れも儀礼的になっています。人は感動の中で成長していきます。感動をなくした者に、成長はありません。市民のための議員なら、常に成長していかなければなりません。我々笠岡市議会議員一人一人には、常に初心を忘れることなく使命を全うする覚悟があります。

市議会かさおかでは紙面の都合上、情報を要約して掲載しています。

ぜひHPをご覧ください。



広報公聴委員会

◎天野喜一郎

○齋藤一信

大山盛久

妹尾博之

桑田昌哲

山本聡

仁科文秀

◎委員長 ○副委員長